

子育て・子育て支援情報 ⑤0

たかま夢・未来塾ロボットクラブ 3年連続世界大会進出 ロボカップジャパンオープン2009大阪で大活躍



(写真左から)
「チーム高浜 Jr.」 杉浦 啓太くん (高中3) 加美 聡哲くん (高中3)
「チーム高浜 3rd」 井上 裕貴くん (高中2) 黒田英太郎くん (高中2)
「チーム高浜 little」 村田 紹望くん (高小6) 杉浦 佑斗くん (翼小5)

ロボカップとは
ロボカップは、ロボット工学と人工知能の融合、発展のために自律移動ロボットによるサッカーを題材として日本の研究者らによって提唱されました。現在では、サッカーだけでなく、大規模災害へのロボットの応用としてレスキュー、次世代の技術の担い手を育てるジュニアなどが組織されています。
たかま夢・未来塾のロボットチームは、5月8日から10日まで、京セラドーム（大阪市西区）で開催された「ロボカップジャパンオープン2009」のジュニア・サッカーチャレンジに出場しました。

競技内容
1チーム2台の自律型ロボットを製作し、サッカーを行います。
フィールドAでは、出場選手の年齢により、プライマリ（14歳以下）、セカンド（19歳以下）などの部門に分かれて競技をします。
また、今年度から、過去に優秀な成績を取ったチームを対象としたフィールドBが新設されました。年齢区分もなく、ルールもより難しいものとなっていますが、世界大会優勝チームが新たに挑戦しました。



▲対戦中のチーム高浜3rd

チーム高浜3rd 3位入賞 世界大会進出へ チーム高浜 little 5位入賞 おめでとう！！

出場選手は、たかま夢・未来塾を拠点に、休日返上で夜遅くまで準備をし、大会に臨みました。
その結果、プライマリ部門に出場した2チームは、大会初出場ながら、見事に上位入賞を果たしました。
また、フィールドBに初出場したチーム高浜 Jr.は、大学生や高校生にまじって善戦しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、次につながる良い経験になりました。

出場選手は、たかま夢・未来塾を拠点に、休日返上で夜遅くまで準備をし、大会に臨みました。
その結果、プライマリ部門に出場した2チームは、大会初出場ながら、見事に上位入賞を果たしました。
また、フィールドBに初出場したチーム高浜 Jr.は、大学生や高校生にまじって善戦しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、次につながる良い経験になりました。

フィールドA 3位入賞チーム チーム高浜3rd

井上 裕貴(高中2)

ジャパンオープンに出ることができたのは、今年が初めてです。
三日間の大会の中、知らないチームの人と話してみたり、そのチームの口ゴと戦ったりして、たくさん学びました。
自分がこの大会を終えて一番学んだことは、「用意周到」でした。
相手と戦っているうちに何度も口ゴが壊れました。しかし予備部品をしっかりと用意していたから最後の最後まで戦うことができたのだと思います。

来年には、さらに強い口ゴをつくり大会に出たいと思います。

黒田 英太郎(高中2)

5月9日の予選は、リーグ内4試合中3勝1敗の2位通過でした。激しい戦いによって部品が破損したり、取れたりしました。全国大会に出てくるロボットは、半端ではないと思いましたが、

10日の決勝では、1回戦は、大量得点で勝ちました。準々決勝で、同じ高浜の Team Takahama Little と対戦しました。「Little は別の予選リーグで1位通過でした。「Little に勝つたものの、僕は「Little がここでトーナメントから消えるのがさみしく思いました。」

試合前、ねじ締めや部品の交換などチューナップをしっかりとやっていたので、全試合リタイアすることなく戦い続けることができました。3位という結果をだすことができたのも、未来塾の方々が、応援してくださった人たちのおかげだと思います。ありがとうございました。

フィールドA 5位入賞チーム チーム高浜 little

杉浦 佑斗(翼小5)

ぼくは4年生で夢・未来塾に入りました。
もちろん1年目なので、最初はあまりわからなかったけど、

みんなに教えてもらいながら勉強してロボの事がだんだんわかりました。
そして高浜ノード大会で2位になり、東海大会に出る事になりました。東海大会ではおどろくことに4位になりました。
大阪の京セラドームで行う全国大会出場が決まって、5月7日の夜からお父さんと大阪に行きました。

予選リーグをして、まさかのブロック1位通過で予選全体で4位通過でした。
決勝リーグは、予選が4位なのでシードでうれしかったのですが、せんばいに「シードはずるいなあ」と言われました。じつは、東海大会もシードで決勝リーグをやりました。
全国大会の結果は5位です。もうひとつのマルチ部門では3位でした。
でも、これをみんなは「運が良かったね」と言っています。
来年は、優勝できるようにがんばりたいと思います。

村田 紹望(高小6)

ぼくはロボットを作り始めて一年で全国大会という大きな大会に出場しました。全国大会に出られるとは思っていなかったのですが、とてもうれしかったです。地区予選を勝ち抜いてきた強い



▲プレゼンを行うチーム高浜 little

人たちと戦えるから、すごく楽しみでした。
ぼくたちは連勝して、予選ブロック1位になり、次の日の決勝に進むことができました。まさか決勝に残れるとは思ってなかったのですが、正直びっくりしました。

決勝に進んだからには、たくさん勝ちたかったけど、ロボット作りを教わっていた高浜の先輩と対戦し、負けてしまいました。くやしくてたまらなかったです。
来年に向けてがんばろうと思

っていたら、井上君と世界大会に出場できることになりました。世界中からやってくる人やロボットとの新しい出会いが、楽しみです。



フィールドB チーム高浜 Jr.

杉浦 啓太(高中3)

僕は今回のロボカップ全国大会では、新しく作られた、フィールドBに参加しました。フィールドBには今まで世界大会にいったメンバーや高専生が多く、みんなすごいロボットに仕上がっていました。結果は残念ながら世界大会には出場できませんでしたが、いろんなロボットを見て学ぶことができました。

ぼくはもう中学3年生なので、受験があります。なのでいったんロボットを休憩して、受験が終わったら、全国大会で見たいことを活かして、新たなロボットを作り、次こそはフィールドBで世界大会に行きたいです。

加美 聡哲(高中3)

今回全国大会に出て、時間を大切に計画的に使わなければならぬと思いました。なぜなら、製作期間が3ヶ月という短い期間でロボットのハードの製作、プログラムや調整が間に合わなかったからです。ことわざでもあるように、「時は金なり」の意味がよく分かりました。

普通は1年間を通してロボットを作り、調整していくことで良いロボットが作れます。しかし僕たちは残り3ヶ月という期



▲プレゼンを行うチーム高浜 Jr.

間で全国大会用のロボットを作らなくてはならぬという課題がありました。この短い製作期間ですべてのことをこなそうとしてしまったので問題も残ったままの全国大会でした。
なので今後、時間を大切に計画的にやりたいと思いました。

たかま夢・未来塾とは、高浜で育つ子どもたちが、豊かな経験を積みながら、広い世界で活躍できるように、市内在住の小学4年生から中学3年生を対象に、さまざまなプログラムを提供しています。
今年度は、ロボット製作に取り組み「ロボットクラブ」の他、「夢・未来クラブ」として、ものづくりや自然科学、国際交流などの幅広いテーマに取り組んでいます。
現在サポート会員を募集しています。19ページをご覧ください。